

PC プロジェクター発表に関する注意事項

日本雑草学会第 62 回大会運営委員会

口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表に用いるノートパソコンは発表者各自でご持参ください。パソコンの不具合に備えて、プレゼンテーションデータを pdf 形式で保存した USB メモリを必ずご持参ください。不具合の場合は会場に設置された予備のパソコンに、その USB メモリを挿して発表していただきます。不慮のトラブルでお困りの場合は会場のスタッフにご相談ください。

〈会場機材のスペック〉

- ✓ 会場にご用意するプロジェクターに接続するモニターケーブルの端子は HDMI (type-A) および USB-C (通常の USB より小さく丸みをおびたもの) の 2 種類です。発表のためご持参いただくパソコンの側面に、これらのいずれかに対応した端子 (穴) があることをご確認ください。ない場合は、変換アダプタを発表者側であわせてご持参いただく必要があります。旧来の VGA 端子 (別名 D-sub15 ピン) は特殊なアダプタがない限り接続できませんのでご注意ください。
- ✓ プロジェクターの解像度は 1920×1200 または 1280×800 のいずれかです (会場により異なります)。解像度は自動調整されますので、通常、発表者側で気にしていただく必要はありません。
- ✓ 会場に一般参加者用の WiFi 設備はありません。

〈発表の手順〉

- ✓ スクリーンセーバー、省電力設定はあらかじめ解除し、起動音をミュート (消音) にしておいてください。
- ✓ 次次発表者・次発表者は会場前方の指定の席にお座りください。次次発表者になりましたらパソコンを起動し、発表画面を出してお待ちください。
- ✓ 前の発表が終わりましたら、次の発表者は演題でモニターケーブルを受け取り接続してください。通常、自動的にパソコンと同じ画面がスクリーンに映し出されます (ミラーリング)。
- ✓ 発表終了後はモニターケーブルを抜いて次発表者にお渡しください。
- ✓ トラブル発生時は、USB メモリを用いた会場設置パソコンでの発表に切り替えていただきます。トラブル対応の時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。

〈試写〉

- ✓ 休憩室には発表会場と同じ機材があり、試写が可能です。また、休憩時間中は発表会場でも試写が可能です。発表前に必ずいずれかの場所で試写をおこなってください。
- ✓ パソコンにケーブルを挿したとき自動的に画面が投影されない場合は、パソコン側の設定をご確認ください。不明な場合は会場スタッフにご相談ください。
- ✓ 動画はトラブルが発生しがちですので、必ず試写でご確認ください。